

事務事業評価表(既存事業)

コード 6-3-5	事務事業名 高齢者配食サービス事業	所管部課 保健福祉部高齢福祉課
--------------	----------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 高齢者に安定した食事を提供することを通じ、一人暮らし高齢者及び高齢者世帯の孤独感の解消、健康の保持、安否の確認等を行うことにより高齢者福祉の増進を図る。	総合計画上の位置づけ (政策)笑顔で暮らすまちづくり (区分)高齢者福祉の充実 (主要施策)日常生活の支援
	実施内容、実施方法 市内に居住の65歳以上の一人暮らし、65歳以上の者のみで構成される世帯に属する者、市長が特に必要と認めた者で調査の結果サービスが必要と認められた方に対し、委託業者が調理した昼食を週6回(月～土)の希望する曜日に利用者宅まで届ける。	根拠法令等 西東京市高齢者配食サービス事業実施要綱
	事業開始時期 平成 13 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )

評価指標の設定	活動指標名 配食数	活動指標の考え方(定義) 栄養バランスの取れた食事の提供
	成果指標名 実人数	成果指標の考え方(定義) 健康状態及び安否の確認

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		75,768	84,306	95,469	104,814	
	国庫支出金	千円					
	都支出金		33,075	37,417	42,947	45,273	
	地方債						
	その他		32,842	37,006	41,624	48,186	
	一般財源		9,851	9,883	10,898	11,355	
	所要人員(B)	人	0.50	0.50	0.50	0.50	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	4,123	4,137	4,164	4,164	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	79,891	88,443	99,633	108,978	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(配食数)	千円	0.95	0.94	0.94		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	食			110,400	116,460
		実績値	食	84,187	93,674	106,077	
	活動指標	目標値					
実績値							
成果指標	目標値	人			741	763	
	実績値	人	517	760	718		
成果指標	目標値						
	実績値						

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	国・都・他市・民間等 における類似事業	23区 26市11町村
	運営上の制約条件・ 外部要因等	

コード 6-3-5	事務事業名 高齢者配食サービス事業	所管部課 保健福祉部高齢福祉課
--------------	----------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	利用者からも好評の声もあり十分な成果が出ていると判断できる。 配達時は毎回安否確認であり、利用者不在時は業者より連絡が入り緊急連絡先に連絡し利用者の所在確認し、それでも確認出来ない場合には職員及び在宅介護支援センター職員が利用者宅を訪問する。栄養については、栄養士による管理のもと高齢者向けの食事を提供している。孤独感は毎回配達時手渡ししが原則なので声かけによる孤独感解消。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	利用者のほとんどが独居状態であり、お弁当を手渡しすることで健康状態及び安否の確認が出来る。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	高齢者の日常生活において配食サービスは安心を与える。 同様のサービスを実施している26市の委託料の平均が1,052円であり、経費の面では問題ない。自己負担についても平均が439円なので問題ない。運営方法については、市、利用者、事業所、在宅介護支援センターが連携しているため問題なし。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	在宅支援センターによる訪問調査で高齢者と面談し実施する。 本人申請及び代理人申請後在宅介護支援センターに調査依頼する。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一人暮らし高齢者は身近な相談相手のない方が多く、配食サービスでの健康状態及び安否確認は重要不可欠であるため、このままの継続が必要である。

17年度における改善点	配食数とも大幅な増加が見込まれているため、より利用者のニーズに合った回数や曜日の調整を検討する。
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	26市の状況等から考え、利用者負担金の単価を見直した上で継続実施する。
--------	---	-------------------------------------

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
  - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
  - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
  - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
  - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
  - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。